

高石 給食費 無償化実現



この4月から全国の中学校一年生「35人学級」が始まりました。
高石市でも、市民、保護者の方々の声と取り組み、組合の交渉等をつけ、様々な切実な要求が実現しました。
(ここに主なものを紹介します。)

施設等関係

①校舎等の外壁改修工事

高石小、高陽小、高石中、高南中と取石中体育館の外壁改修工事を行う
・費用 小学校関係2億6090万円、中学校関係2億8060万円

②給食費無償化

□小学校
国の支援を受けて、又支援を超えた分も市の独自補助を実施

□中学校

高石市独自の無償化を継続実施

③新設される「教育支援ルーム」

整備のための予算を、当該校に各10万円を支給

④全校の普通教室に「電子黒板」設置

現在普通教室に設置されているプロジェクター、スクリーン

の老朽化に伴い、新たに、



⑤各校にウォータークーラー設置

小学校140台、中学校60台 更新
2学期以降順次設置
(予定) 費用1億4861万円

【組合の要求】

加茂小体育館下のトイレ改修を除き、多くの学校のトイレの改善が行われていません。早急な実現を求めます。

増員関係

①校内教育支援ルーム(不登校対応)新規設置校

取石中、高石中
これにより、全ての学校に「教育支援ルーム」が置かれました。

②介助員増員

13人(13人)
複数配置校 高石小、高陽小、東羽衣小。

高石市民学習会

「義務教育学校」ってどんな学校?(パート2)

~どうなる?! これからの高石の学校~

お 話 : 片山颯人 (大阪市立中学校教員)

日 時 : 5月31日(日) 午後1時~

場 所 : 高石市コミュニティセンター2階大会議室

参加費無料
どなたでもご参加いただけます



生野区の小中一貫校に勤務された経験のある片山さんに、中学校の教師の視点から小中一体型義務教育 学校のリアル姿をお話していただきます。
高石市の子どもたちにどんな学校、教育を手渡していったらいいのか、ごいっしょに考えましょう。

主催 子どもと教育を守る高石市民の会 (連絡先) 072-265-0400 (高石市職員労働組合気付)

③ICT支援員、学力向上非常勤(学びんぐティチャー! 各校15時間) 25年度と同様の配置

その他、教育委員会独自の施策
□「生成AI・ライブ」(中学校の英作文指導・ア

デバイス) 導入
□校長経営マネジメント支援事業補助金 小学校は1校につき15万円、中学校は1校につき20万円支給。加えて各校1学級につき1万円(25年度学級数に応じ)を配当。学校が独自の取り組みをする際に活用する補助金。